

ホクコープリンススピノ粒剤6

■種類名：スピノサド・フィプロニル粒剤
 ■有効成分：スピノサド.....0.75%
 フィプロニル.....0.60%

■登録番号：第24365号
 ■毒性：普通(毒劇物に該当しないものを指すという通称)
 ■登録初年：2020.03.25
 ■性状：類白色細粒
 ■有効年限：3年
 ■包装：1kg×12袋(5年)、10kg×1袋

【特長】

- 異なる殺虫メカニズムのフィプロニルとスピノサドを組み合わせることで、ユニークな相乗効果が発揮される。その結果、フタオビコヤガをはじめとしたチョウ目害虫やイネドロオイムシに対し優れた効果を示す。
- 水稻に対する安全性が高く、は種時から移植当日までの処理が可能。
- スピノサドは天然物由来の成分であり、多くの「特別栽培米」で化学合成農薬の使用回数にカウントしない有効成分として認められている。(一部の地方自治体によって使用基準が異なる場合があるので、使用前に関係機関に確認すること)

【適用内容】(2022年3月9日現在)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スピノサドを含む農薬の総使用回数	フィプロニルを含む農薬の総使用回数		
稲 (箱育苗)	イネドロオイムシ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5%) 1箱当り 50g	は種前	1回	育苗箱の 床土に 均一に混 和する。	1回	1回		
		高密度には種する場合は 1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌 約5%) 1箱当り 50~100g)							
	イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ニカメイチュウ イネツトムシ フタオビコヤガ イナゴ類	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5%) 1箱当り 50g	は種時 (覆土前) ~ 移植当日					育苗箱の 上から 均一に散 布する。	
		高密度には種する場合は 1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5%) 1箱当り 50~100g)							
		イネヒメハモグリバエ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5%) 1箱当り 50g						は種時 (覆土前)
			高密度には種する場合は 1kg/10a (育苗箱(30×60×3cm、 使用土壌約5%) 1箱当り 50~100g)						

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきることを。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植すること。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植時期を過ぎた苗などには薬害を生じやすいので、注意すること。
- は種時覆土前散布の場合、低温で生育抑制を生じるおそれがあるので、温度管理に注意すること。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行い、移植後に田面が露出しないよう注意すること。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当りに乾糞として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整すること。
- 薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように処理を行うこと。

- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ フィプロニルによる中毒に対しては、動物実験でフェノバルビタール製剤の投与が有効であると報告されている。
- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：密封し、火気をさけ、食品と区別して、直射日光の当たらない冷涼な場所に保管すること。